



気軽にお電話ください

■地域への訪問
ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯などを対象に、定期的に各

■在宅生活相談、介護福祉相談
高齢者の生活や介護の悩みなどについて、専門知識の豊富な職員が相談に応じます。相談費用はかかりません。秘密は厳守します。

暮らしの何でも相談窓口
市では市内各中学校区に1カ所ずつ、高齢者のための相談窓口を設置しています。それは在宅介護支援センター。利用者の皆さんには「ざいかいさん」と呼ばれています。高齢者やその家族が、元気に過ごすための相談を受けたり、手助けをしたりする窓口です。その活動を紹介します。

■高齢者福祉サービスの紹介・利用手続きの代行
週4回まで昼食を配達する給食サービス、電話で安否を確認する福祉電話など、市のさまざまな高齢者福祉サービスを紹介します。また、高齢者用つえを給付します。
本人の状況により、適切なサービスを紹介するとともに、手続きを代行します。
※一部、要件あり。



身分証明書のイメージ

世帯を回ります。気になること、不安なことなど、何でも話してください。
※在宅介護支援センターの職員は、身分証明書を携帯しています。不審に感じる場合は、身分証明書を確認するか、介護保険課へ問い合わせてください。



▲数カ月に1度訪問している筒木さん宅。在宅介護支援センターとの相談で、手すりを設置するなどして、夫婦とも元気に暮らしています

■福祉用具、住宅改修の相談
在宅介護支援センターでは主な福祉用具を展示しているほか、福祉用具のカタログを用意しています。使用する本人の状況に応じた、福祉用具を紹介します。また、住宅リフォーム補助金などの制度紹介や介護保険による住宅改修の相談にも応じます。症状や生活スタイルにあった効果的な改修への助言をします。
「家の中に手すりを設置したい」「介護ベッドを検討したい」「金額が知りたい」など、親身に応じます。

◀各センターでは、福祉用具を展示。ひとりひとりに合った用具を提案しています



特集1

お邪魔します
あなたのまちの「ざいかいさん」

問▶介護保険課(☎71)2226)

行ってきます

「やうかやう」の1日



在宅介護支援センターひがし
ばたの職員、宮田浩子さんの一
日に密着しました。
※あくまで一例です。日により、
また各センターにより内容が
若干異なります。

午前9時

地区内のひとり暮らし高齢
者、高齢者世帯の訪問に出発



困っていること
はないですか



◀各世帯を訪問し、日常の困っ
ていることや、受けているサ
ビスの感想などを聞く

正午

午前中の戸別訪問を終了



◀訪問先の予定が細かく書かれ
た宮田さんの手帳。「元気な顔が
見られないと不安」だとか

ありがたいです

小出久子さん(和泉町)

数年前からひとりで暮ら
しています。

宮田さんが、よく顔を見
に来てくれるので嬉しいで
す。「調子はどうですか」と
声を掛けてもらえると、ほ
っとします。

よく気が付いてくれて、
先日は、電気点検の手続き
をしてくれました。

今は、息子や近所の人も
様子を見に来てくれてい
るし、体も健康に暮らせて
います。でも、私一人で生
活しているので、何かあつ
たらと考えると不安になり
ます。

宮田さんは介護のことも
いろいろ知っているので、
心強いです。



助け合う存在です

早川昭二さん(明祥地区
民生委員)

民生委員として、地域が
住みよいまちになるよう見
守りをしています。もちろ
ん地域での見守りは、私た
ちや近所の人、町内会だけ
では足りないもので、「ざいか
いさん」の存在は大きいで
すね。

相談を受けたり、できる
範囲で手助けをしたりしま
すが、大変なケースや手厚
く見守りたい人などは、積
極的に「ざいかいさん」にも
声を掛けます。

これまで、認知症の人や
介護保険サービスの必要な
人など、さまざまなケース
を協力しながら解決してき
ました。お互いに助け合え
る存在ですね。



午後1時30分

月1回の、地区民生委員の会
議に出席。地域の住民につい
てよく把握している民生委員の
話に耳を傾ける



午後3時

地域の高齢者の介護保険申請
や、住宅改修の事後評価票など
を市役所に提出



介護保険の申請
に来ました

手すりは役立っ
ていますか

午後4時30分

事務所に戻り、本日の訪問内
容の記録や市役所へ提出する書
類などを作成



午後3時30分
住宅の改修や福祉用具の購入
をした家を訪問し、使い勝手な
どを聞く



「ご相談ください、あなたのまちの「ざいかいさん」」

詳しい場所などを記載した「介護サービス事業者マップ」を、介護保険課、各地区公民館、各地区福祉センターなどで配布しています。



特集1 お邪魔します

あなたのまちの「ざいかいさん」

問▶介護保険課(☎(71)2226)



くつ(福祉用具)の使い心地を確認

今年の7月、県外で暮らしていた姉を家に呼び寄せました。ひとりでの生活が難しくなってしまったからです。こちらに来てすぐの頃は、立って歩くことができないほどで、入浴やトイレも私たちが手伝わなければなりませんでした。姉の住所変更などで市役所に行った際に、窓口で在宅介護支援センターのことを知り、その日のうちに問い合わせました。すぐに宮田さんが来てくれて、姉の状態を見ながら、福祉用具や住宅リフォーム補助金の紹介など、状態に合ったアドバイスをしてくれました。「介護」なんて、それまで他人事でしたから、面倒を見ると決めたものの、全く未知の世界でした。紹介してくれた介護ベッドや、手すりなどの設置のおかげで、姉はしっかり歩けるようになったし、入浴などもひとりでできるほど元気になってくれました。紹介するだけではなく、きちんと手すり役立っているか、福祉用具が姉に合っているかを見に来てくれて、今後の相談もできるので、本当に助かっています。宮田さんが来てくれるたびに「これからもよろしく」と声を掛けているんです。



安心して相談できるという酒井さん

姉の介護でお世話になって

酒井さん(城ヶ入町)

今年の7月、県外で暮らしていた姉を家に呼び寄せました。ひとりでの生活が難しくなってしまったからです。こちらに来てすぐの頃は、立って歩くことができないほどで、入浴やトイレも私たちが手伝わなければなりませんでした。姉の住所変更などで市役所に行った際に、窓口で在宅介護支援センターのことを知り、その日のうちに問い合わせました。すぐに宮田さんが来てくれて、姉の状態を見ながら、福祉用具や住宅リフォーム補助金の紹介など、状態に合ったアドバイスをしてくれました。

たアドバイスをしてくれました。

ぜひ相談してください
馬谷紀江(市介護保険課)



■介護保険制度の講師役として各地域の集まりや高齢者のお話会などで、介護保険制度や介護予防の話をすることもあります。ぜひ皆さんの地域の集まりに声を掛けてください。

■介護者のつどいにも各地域福祉センターで開催している介護者のつどいにも、相談役として出席しています。

■パンフレットを配布しています。各地区の福祉センターでは、

担当地区の在宅介護支援センターが作成したパンフレットを配布しています。ぜひ手にとって見てください。



各地区により特色のあるパンフレット

在宅介護支援センターには、知識や経験が豊富な職員たちがそろっています。実際に皆さんの自宅に伺って、どんなことに困っているのか、どんな解決方法があるのかを一緒に考えます。在宅介護支援センターは地域の身近な相談窓口です。高齢者の家族や、今は元気だけど何となく不安だという人も、ぜひ相談してみてください。